

(お 知 ら せ)



平成21年12月3日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（12月3日現在）

（ ）内は定格電気出力

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第32回定期検査中 定期検査の工程表は別紙1のとおり
2 号 機 加圧水型（116万kW）	運 転 中

2. 故障等の状況について（平成21年11月5日～平成21年12月3日）

（1）法律に基づく報告事象

○敦賀発電所1号機の定期検査の状況について

（高圧注水系ディーゼル冷却用海水配管の減肉の原因と対策について）

高圧注水系ディーゼル冷却用海水配管の肉厚測定を実施したところ、ディーゼル機関の冷却水を冷却するための冷却器入口海水配管の一部に必要最小厚さを満たさない部位が1箇所確認され、当該配管を切断し断面を観察したところ、配管内面で減肉が確認されました。

当該配管には、配管内を流れる海水による腐食を防ぐため、内面にタールエポキシ樹脂ライニング（以下、ライニング）が施工されていますが、減肉箇所は配管内面から腐食し、ライニングが途切れた状態でした。

当該配管が腐食し減肉した原因は、ライニングが海水中の海生物の付着・脱落・衝突により損傷し、海水と配管母材が接し腐食が始まり、その後、適切な点検や補修が行われず、腐食が進行し、必要最小厚さを下回ったと推定しました。

対策として、当該配管については、耐剥離性等に優れたポリエチレンライニング配管の新品に取り替えました。また、当該系統の残りの配管についても、ポリエチレンライニング配管への取替えやライニングの補修を行いました。なお、補修を行った配管は、次回定期検査にてポリエチレンライニング配管等に取り替えます。また、今後、当該系統については、定期点検計画等に点検内容を明確にし、計画的に点検していきます。

今回点検を実施した海水配管は、40年目以降の長期保守管理方針において、計画的に目視点検するとしていたもので、今後、当該系統を含む安全上重要な海水配管については、今回の事例及び40年目の高経年化技術評価の結果に基づき、点検

内容を具体的に策定し、計画的に点検していきます。

(平成21年10月14日、11月26日発表済)

(2) 安全協定に基づく異常時報告事象

○敦賀発電所1号機の定期検査の状況について

(高圧注水系ディーゼル冷却用海水配管の減肉の原因と対策について)

前述(1)のとおり

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について(12月3日現在)

(1) 陸域工事関係

平成19年9月より本格的に開始した山地の切取、埋立工事は今年の5月末に終了し、6月15日に県の埋立竣功検査を受け、7月14日竣功認可書を受領しました。

現在、埋立地の地盤改良工事、原子炉背面道路工事を行っています。

(2) 仮設工事関係

浦底湾側に本体工事で必要となる仮設用地の造成工事を9月から開始しました。

4. 敦賀発電所3, 4号機 原子炉設置変更許可申請書に係る補正書添付書類の記載(気象関係)の一部誤りについて

敦賀発電所3, 4号機については、平成21年10月16日に原子炉設置変更許可申請書(平成16年3月30日申請)の補正書を経済産業大臣宛に提出しました。

(平成21年10月16日発表済)

このうち、気象資料等の見直しに伴って変更した、想定事故時の安全評価の一環として行なう周辺監視区域境界の線量評価に使用する気象条件の計算結果の一部に、誤りがあることが分かりました。

調査の結果、今回の誤りは、平成21年2月に、それまで申請用に使用していた計算プログラムを改造した時の不備によるものであることが分かりました。

なお、今回の誤りは、想定事故時の安全評価結果に影響を与えるものではありませんでした。また、これまでに実施した当社既設発電所の安全評価結果にも影響がないことを確認しました。

(平成21年12月3日発表)

5. その他

(1) 敦賀発電所2号機における運転上の制限の逸脱及び復帰について

敦賀発電所2号機は、定格熱出力一定運転中において、12月2日、定期検査の準備のため分電盤を開けたところ、16時40分、1次冷却材ポンプの電源電圧及び周波数を監視する装置に電源が供給されていないことを確認した。このため、監視装置が動作不能と判断し、17時20分、保安規定の運転上の制限^{※1}の逸脱を宣言しました。

19時58分から順次電源を供給し、健全性を確認したことから、21時27分

に保安規定の運転上の制限の逸脱の復帰を宣言しました。

なお、監視装置に電源が供給されていなかった原因について調査し、再発防止に取り組んでまいります。

※１：多重の安全機能を確保するため、予備も含めて動作可能な機器（ポンプ等）の必要台数が定められているものです。一時的にこれを満足しない状態が発生すると、運転上の制限からの逸脱を宣言し、予め定められた時間内に修理等を行うことが求められます。なお、定められた時間内に当該機器を復旧させるか、または出力低下などの予め定められた措置を講ずれば、保安規定違反に該当するものではありません。

（２）敦賀発電所燃料健全性データの公開について

運転中における発電所の原子炉内燃料の健全性監視データを下記のとおり、ホームページ上で公開いたします。

１）内容：１号機

- ・排ガス放射線モニタ指示値
- ・原子炉水中のよう素１３１濃度

２号機

- ・１次系冷却材中のよう素１３１濃度

２）更新頻度：原則として、週に１回の更新

３）掲載開始時期：１２月中旬目途

なお、データは発電所が運転中に測定しておりますので定期検査中や停止中は更新いたしません。

（３）げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

１）写団・ウエーブ２１例会展

〔写団・ウエーブ２１（代表：松永 節夫様）１０名の皆様による写真展です。当ギャラリーでの展示は６回目となります。メンバーの皆様が、各々１年間に撮影した作品の中から代表作を出品されます。季節を感じる作品と自由作品を約３０点展示予定です。〕
(12/1～12/13)

２）日本・イギリス小学生絵画交流展

〔当社とイギリスセラフィールド社が所在している地域の児童絵画交流展です。テーマは「私たちの暮らし」で、敦賀市と茨城県東海地区、イギリスセラフィールド地方の小学生のかわいらしい絵画を約１００点展示予定です。〕

(12/15～12/27)

３）２００９年度福井県小・中学生科学アカデミー賞優秀作品展

〔福井県の小・中学生が、夏休みを中心に取り組んだ理科研究の優秀作品展です。小・中学生個人の部から選ばれた最優秀賞等２０点を展示予定です。〕

(1/5～1/10)

(4) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。＞

1) 日本・イギリス小学生絵画交流展オープニングセレモニー

〔当社とイギリスセラフィールド社が所在する地域の児童絵画交流展オープニングセレモニー〕

日時：12/5 10時～12時40分

会場：敦賀原子力館

2) 第12回ふるさと大賞写真コンテスト作品募集

応募締切：12/7

テーマ：みつめてみよう～ふるさとふくい

(5) 次世代層等への教育支援活動関連イベント

＜次世代層等への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

“げん丸塾”会員のつどい

〔科学実験ショーと工作教室〕

対象：げん丸塾生（会員制）

会場：敦賀原子力館

日時：12/20 10時～14時

以 上

敦賀発電所1号機 第32回定期検査の作業工程

